

まちづくり懇談会(子育て世代・事業者)が開催されました

令和6年12月11日、12日に今回初めて子育て世代と事業者向けのまちづくり懇談会を開催しました。その意見交換について一部抜粋した内容をお知らせいたします。

意見交換(子育て世代)

- Q** 子供が就職を考えた際に町内の企業が少なく、仕事が無いと町内に残る事は難しい。
- A** 仕事を作ることは大切と考えています。都会に出て働きたいということも認めなくてはいけません。七ヶ宿で働きたい子供のためにも、受け皿が必要と考えています。会社が合わなければ起業など、その支援を周りや行政が支援できれば良いと思っています。
- Q** スキー用具を一式揃えるのがお金の面で負担が大きい。お下がりを集めてスキー場で保管し、手入れして使うシステムがつかれないか。
- A** お下がり市をスキークラブで行っているの、保護者会と合同で実施すれば必要な用品も集まるのではないのでしょうか。町だけではなく、外部団体の協力ももらうことも必要だと思っています。
- Q** 毎年中学生の学習発表会があるが、中学生が知らないだけで既にやっている事業や、取り組んでいたがやめてしまった事業の提案も多い。学習発表会をやる前に町の人に説明を受けるなど、正しい情報で発表できるようにしてはどうか。
- A** こども議会など、子供達の疑問やしてほしい事を投げかけて、大人が回答する機会を作れるよう、教育委員会とも話しています。子供達の考えすべてが実現できるわけではありませんが、可能性のあるものは検討しなくてはならないと思っています。
- Q** 子供の遊ぶ場所が足りない。共働きで親が不在の家に集まるのは安全性の問題もあり、好ましくない。外遊びも今の場所は危ない。空き家を改修して居場所が作れないか。
- A** 学校や保育所は開放しており、予約が入っていないときは、活性化センターも利用できます。あるものを使う工夫も必要と考えています。
- Q** 移住者は核家族が多いので、保育所の充実が必要。土日や夜の延長保育などが欲しい。
- A** 要望に応えると今の1.5倍は保育士が必要ですが、保育士を集めることは難しく、働き方改革もあり、必要以上の仕事を与えることができません。
- Q** 高齢者の方がいなくなると文化が途絶えてしまう。祭りや昔のことなど、子供たちが知る機会が少ない。経験や体験をできる機会を増やしていけないか。
- A** 人口が減ってきているが、今はまだ昔のことを分かる方がいるので、祭りのことなど教えてもらえる。移住してきた方々も行事に関わっていただけると心強い。

意見交換(事業者)

- Q** 移住定住のPRは町も力を入れてやっていると思うが、企業の方も一緒に行ってPRしたらどうか。
- A** 七ヶ宿町の企業合同面接会などを実施した場合、それに係る経費を町が支出をしても良いと考えています。
- Q** 知り合いが空き家バンクに登録した。役場の方の対応が良くスムーズにいったと言っていた。
- A** 町内には150戸空き家がありますが、1/3はそのまま使える、1/3は大規模改修、1/3は改修しても難しい状況です。実際に活用できるのは50戸前後です。各地区に残っている空き家を活用し、移住者を増やすためには空き家バンクの活用が大事と考えています。売り手の方と買い手の方との交渉のため、町が介入しにくいですが、地区の方とコミュニケーションがとれるような方に入ってもらえるような状況を目指したいと考えています。
- Q** 通院タクシーを刈田病院だけしか使えないと思っていた町民がいた。火曜日が少なく、水曜日の高島方面は毎週行っている。ここにいる皆さんも宣伝して欲しい。
- A** 各地区のまちづくり懇談会では、病院や買い物でも利用できると説明し、利用を促しました。とても良いという意見もありました。
- ※通院タクシーは病院や買い物場所を限定しません。乗車する方の予定によっては、待ち時間が発生する場合があります。日常生活に寄り添う通院タクシーとなれるよう、皆さんのご希望をお聞きしながら運営していきます。
- 白石市・大河原町方面(月・火・木曜日 運行)
●高島町・川西町方面(水・金曜日 運行)
どちらも役場を8時頃に出発し午後帰宅となります
予約は七ヶ宿観光タクシー (☎37-2623) に前日までにご連絡ください。
- Q** 同世代の親御さんと話している中で、県南地域の産婦人科病院がないことで七ヶ宿にしながら出産を悩む人もいます。
- A** 仙南2市7町が同じ思いをしています。産婦人科医師が年々少なくなっている一方で、仙台周辺に医師も集まる傾向にあります。がんセンターと日赤病院が統合し、名取に誘致する方向で固まりましたが、七ヶ宿から行くとなると仙台でも名取でも変わらないと思います。大河原町の中核病院で周産期医療ができるよう、要望していきたいと思っています。

※空き家は人の出入りが少なく湿気がこもりやすいため、劣化が早く進んでいきます。お早めにご家族でご相談いただき、空き家バンクへの登録を検討される方は役場農林建設課(☎37-2115)までご相談ください。

空き家バンク登録の流れについては移住定住サイトをご覧ください⇒



地区の身近な課題や町全体に関する事など様々な視点でご意見をいただき今後の町政ににくい町の取り組みをお伝えすることや町民の皆様のご意見を聞く機会として、また、と考えています。まちづくり懇談会にご参加いただいた皆様ありがとうございました。

運営を検討していくうえで貴重なご意見となりました。まちづくり懇談会は普段は見えない町の課題について地域の方にも考えていただくきっかけとして今後も継続していきたい